

第7回水と光のまちづくり推進会議  
平成 28 年 9 月 1 日

## 水都大阪パートナーズ 平成 27 年度事業評価結果

### 1. 評価方法

水都大阪パートナーズの平成 27 年度事業について、下記 2 つの基本方針のもと、4 年間（平成 25 年度～28 年度）で達成すべき目標の進捗状況も踏まえ、事業評価委員会（委員長：橋爪紳也氏）にて評価を行った。

- 【基本方針】① 世界各国から注目される『水と光のシンボル空間』の創出  
② 国内外から観光客が訪れる『水と光のテーマパーク』の実現

### 2. 評価結果

#### (1) 評価点

基本方針	27 年度 評価結果	(参考) 26 年度
<b>① 世界各国から注目される「水と光のシンボル空間」の創出</b>  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           &lt;将来像&gt;            中之島公園、中之島 GATE 等に、これまでにないシンボリックな拠点をつくり、国内外から注目される         </div>	<b>70</b>	61
<b>② 国内外から観光客が訪れる「水と光のテーマパーク」の実現</b>  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           &lt;将来像&gt;            水の回廊を巡る拠点が多数で来ているとともに、それらを舟で巡るクルーズや観光商品により、国内外から観光客が訪れる         </div>	<b>75</b>	69

#### (2) 評価 概ね予定通り進んでいる。(事業継続)

※評価の目安

101 点以上：当初の予定を超えて進んでいる。(事業継続)

61～100 点：概ね予定通り進んでいる。(事業継続)

60 点以下：予定通り進んでいない。方向性や手法を見直すべき。  
(再公募も含め検討)

### (3) 総 評

- 基本方針①、②ともに 70 点台となり、「概ね予定通り進んでいる」とのH27年度分の評価になったが、パートナーズが掲げた4年間（平成 25 年度～28 年度）で目指すべき目標に対する進捗状況を考えると不十分。
- ナイトクルーズなど新たな舟運企画の創出や増大するインバウンド観光客への対応（ホームページ・案内チラシの多言語化：英語・中国語・韓国語、等）などでは、一定の成果が見られる。
- 他方、民間企業の意向を取り纏め、企業に新たなビジネス展開を働きかける、というパートナーズに期待されている役割を果たしきれていない。
- また、イベント等を通じた陸側の盛り上げはみられるが、拠点と舟運との連携が十分でない。船の行き交う風景の実現に向け、舟運活性化の取り組み強化が必要。

#### ※事業評価委員会の概要

---

##### ①事業評価委員（※平成 28 年 5 月 19 日時点）

###### 【委員長】

大阪府立大学 21 世紀科学研究機構教授 観光産業戦略研究所長 橋 爪 紳 也

###### 【委 員】

株式会社日本政策投資銀行 関西支店 部長 友 定 聖 二

株式会社パブリックパートナーズ 代表取締役 池 末 浩 規

大阪府府民文化部都市魅力創造局長 竹 柴 清 二

大阪市経済戦略局理事 芳 田 隆

大阪商工会議所 地域振興部長 堤 成 光

公益社団法人 関西経済連合会 産業部長 野 島 学

一般社団法人 関西経済同友会 企画調査部 調査役 松 尾 康 弘

（以上 8 人、敬称略）

##### ②開催状況

- ・ 第 6 回（平成 27 年 5 月 20 日）

「委員長の選任について」「26 年度取組結果、27 年度取組方針について」「26 年度最終評価について」「26 年度評価結果報告、並びに 27 年度取組項目・達成目標について」

- ・ 第 7 回（平成 27 年 10 月 26 日）

「27 年度取組状況について」

- ・ 第 8 回（平成 28 年 5 月 19 日）

「27 年度取組結果、28 年度取組方針について」「27 年度最終評価について」「27 年度評価結果報告、並びに 28 年度取組項目・達成目標について」

以 上